

平成 29 年 第 1 回 定 例 会 総 体 質 問 通 告 事 項

<p>3 月 3 日 午 前</p>	<p>檀 上 正 光 議 員 ( 市 民 連 合 ) 質 問 方 式 : 一 問 一 答 方 式</p>
	<p>1 2017 年度国家予算と地方財政計画について          ( 1 ) 消費税依存、所得税抜本改革なしの国家予算や、地方交付税における法定率引き上げなし、臨時財政対策債依存の地方財政対策について市長の見解を求める          ( 2 ) トップランナー方式に該当する事業とその影響額、2016 年度 ( 平成 28 年度 ) および 2017 年度 ( 平成 29 年度 ) におけるその内容は          ( 3 ) 新たに創設される「公共施設適正管理推進事業」について、何事業程度見込まれ、総額いくらを見込んでいるのか</p> <p>2 総合計画と農業問題について          ( 1 ) 農産物のブランド認証事業について          ア 尾道ブランドに認証した「いちじく」や「トマト」の、販売価格、出荷量、生産農家数や販売農家の収益等について検証しているのか、検証していたらその結果は          イ 新年度に認証を予定している「スナック・エンドウ」と「桃」の現在の出荷量や生産農家数と、この 2 品目を選んだ理由は          ウ 認証した尾道ブランドをどのように支援を行い、どのような成果があると期待をしているのか</p> <p>( 2 ) 第 2 次尾道市農業振興ビジョンについて          ア 第 1 次ビジョンの成果や課題の検証はどのような方法で行うのか          イ 農業従事者や市民にアンケートなどを行う予定はあるのか。その内容や対象者・規模をどのように考えているのか          ウ 第 1 次ビジョン策定時と今日の農業を取り巻く環境は大きく変化していると思われるが市長の認識は          エ TPP 問題はアメリカの離脱で不透明となっているが、2 国間協議などが想定される、今後の状況についてどのように認識しているのか          オ 第 1 次ビジョンの基本理念や、ビジョンの 3 つの柱はそのまま継続するのかあるいは見直しを予定しているのか</p>

- 3 総合計画と消防力の充実強化について
- (1) 今後「消防力の充実強化」を進めるには「消防職員の確保」が必要と思うが、市長の考えは
- 4 尾道の教育について
- (1) 新教育長に関する人事案件について
- ア 新教育長任命にあたり、市長はどのような条件で人選にあたるのか、また期待するものは何か
- (2) 尾道市教育大綱(案)と尾道市教育総合推進計画(案)について
- ア 政策の柱1から5を事業実施するにあたり、それぞれの5年間の総事業予算はいくらか
- イ 学習支援において市教委はどう主体的に関わるのか
- ウ 「基礎的・基本的な学力の定着を図る取り組みの普及」「児童生徒の学ぶ意欲を向上させる授業改善の推進」「成果を上げた学校の取り組みの普及」の3点について具体的にはどう取り組むのか
- エ 学習支援講師や授業アシスタントの配置は、どこに何名するのか
- オ 放課後や長期休業中の校外での学習支援の促進とは、具体的にはどう取り組むのか
- カ 外国人と積極的にコミュニケーションを取りたい児童が、県平均より8,7%も低い原因をどう分析しているか
- キ 肯定率80%はどのような取り組みで達成できると考えているか
- ク 教育支援相談員は何人を、どこに配置するのか、また市教委はその職務に何を期待するのか
- ケ 「自分にはよいところがある」と答える児童生徒が小学校74,2% 中学校63,9%で、なぜ中学生が10%以上も肯定率が低いと考えるのか。全国的傾向はどうか。
- コ 人権教育・平和教育の推進を掲げているが、年間計画への位置付け、担当者を置く必要性を教育長はどう考えているか
- サ 是正指導13項目の実施割合のように、目標を十分達成した成果目標は、選択と集中の観点から削除すべきではないか
- シ 教職員が力を発揮するために未整備の環境とは何か
- ス 教務事務支援員は何校に何人配置するのか
- セ 部活動指導の休養日設定により、教職員の時間外勤務はどの程度縮減されることになるか

( 3 ) 新しい学習指導要領に向けた対応について

ア 新しい学習指導要領の本格改訂を控え、市教委は人的支援・大幅な事務量削減を目指しP D C Aサイクルに乗せた計画を策定すべきではないか